

『第三回野村胡堂文学賞』祝賀会

2015/10/15 記



祝賀会の司会は翻訳家・タレントの
山田ベッツ氏



開会の挨拶は新国劇の滝洗一郎先生



授賞式報告は柿崎裕治副理事長

授賞式に続き7時頃より祝賀会が開催された。

今回の祝賀会はアトラクションを割愛し、参列者相互の歓談時間ができる限り多く取れるようにしました。そのため、受賞者の鳴海響一先生は参列者からの御祝い、名刺交換、サインなどに大忙しとなり、受賞の醍醐味を十分満喫していただけたものと思います。



主催者挨拶は吉村卓三会長



乾杯の音頭は東京大黒殿殿主の竹之内日海先生



竹之内先生の掛け声で盛大に乾杯



様々なご友人が参列、忙しい中にも
旧交を温めておられました



鳴神先生のご両親と弟君



名刺交換も大忙し、これからも皆様
との縁が更に広がりますように



会場で作品を販売していたこともあり、直筆によるサインで大忙しの鳴神先生



多数の方々にご参加いただき、盛大な祝賀会となりました



小林秀明先生も作品にまつわる歴史認識についてご質問



堀田直樹先生は自作のペーパークラフト人形をプレゼント



作品を書き上げる原動力については「作家になりたかった」と回答された



林家木久扇師匠は銭形平次などのモノマネを披露



お世話になっている皆様に感謝状の贈呈



当クラブの遠藤留治専任理事による三本締めにて閉会

祝賀会ではお世話になっている皆様に感謝状も贈呈。野村胡堂の著作権継承者である住川碧先生、野村宗家の継承者である野村清一先生、副賞に供する賞金を頂戴した株式会社ファミリーマート持株会会長の竹内博先生、当クラブ副理事長である柿崎裕治先生などに感謝状が手渡されました。

大いに盛り上がった祝賀会は、遠藤留治専任理事による三本締めで閉会となりました。

以上